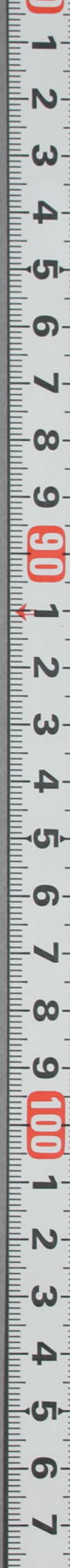


西洋品行論 中邦正直澤 第四冊

9
4131
4



9
4131
4



論

勞作スルヲ即チ工夫ヲ做シテ論ス

作ハ尊榮ナリ

惰ハ禍殃ナリ

馬興亡ノ源

④ 懶惰ハ最モ戒シメザルベカラス

⑤ 懶惰ハ人ノ品格ヲ降黜セシム

⑥ 懶惰ハ憂愁ノ由テ起ル原因ナリ

⑦ 懶惰ノ鬼ハ人ヲ難マス

⑧ 福祥ハ職務ヲ勉ル中ニ在リ

三行論第四編

目錄



九 懶惰ナル人ハ遁辭ヲ爲ヲ務ム

十 勞セザレバ獲ルコトアルベカラズ

十一 勞工ヲ己ノ前後ニ置ベシ

十二 勉強ハ人ノ職分ナリ

十三 職業ハ人ヲシテ安寧福祥ヲ得セシム

勞苦ヨリシテ快樂ヲ生ズ

勞作ハ人ノ生ヲ傷ラズ

人壽ノ長短ハ行事ヲ以テ算スベシ

教法師勞苦ノ職工ヲ作シ事

極賤ナル勞工亦社會ノ福利ヲ増ス

十四 職業ヲ作コト以テ慣習ト成ルムベシ

十五 職業ハ心靈ヲ活潑ケルモハル

十六 勞作ヲ勤ムルハ幸福ヲ得ル大秘訣ナリ

十七 勞工ハ上帝ノ命ニ對スル情狀ナリ

十八 勞工ハ掃蕩宗教ナリ

十九 用ルル職言ハ其人ノ品行ナリ

二十 勞工ハ規法ヲ以テ品行ハ教師ナリ

二十一 規則アル人ハ光陰ヲ活ス

二十二 事務ハ品行ノ教師ナリ

二十三 事務ヲ處辨スル才最モ有用ナリ



① 實用ノ才能ヲ養フハ觀察經驗ニ在リ
 ② 斯格的事務ニ長ズル人ヲ重ンズ
 ③ 良將ハ豫備ヲ爲シ小事ヲ輕ンゼズ
 ④ 良將ハ勞作ヲ辭セズ無限ノ能力ヲ具フ
 ⑤ 華威頓幼年ノ時ヨリ學習ヲ勤メシ
 ⑥ 利達ハ大戦争ヲ總ビ後ニ在リ
 ⑦ 事務ト才藝ト相須テ長進ス計未タリ
 ⑧ 勢力ハ勉強勞作ヲ以テ人ヲ屬ス其始ナリ
 ⑨ 勞作ハ人ヲ憂鬱シ中ヨリ救ヒ出ス
 ⑩ 職務ニ勞スルハ人生ノ主義ナリ

⑪ 卑職劇務ノ中ニ絶大ノ詩人トナリシ人
 ⑫ 著述大家ハ事務ニ慣熟セシ人ナリ例
 ⑬ 官職ノ暇ヲ以テ文藝ニ從事セシ人
 ⑭ 事務ノ慣習ハ文藝學術ヲ培養長成ス
 ⑮ 極好ノ書ハ事務ニ忙シキ人ノ手ニ出ツ
 ⑯ 以太利ノ文人多クハ事務ノ才アリ
 ⑰ 法國士班等ノ著述者ニシテ事務ノ才アリ
 ⑱ 英國及其他ノ著述者ニシテ事務ノ才アリ
 ⑲ 人ノ才ハ事務ノ才ニ在リ

- ① 職業ニ忙シキ間ニ著述ヲ爲シ人
- ② 著作家ニシテ辦事ノ才アリシ人
- ③ 學識アル人ハ事務ニ長ズベシ
- ④ 學術ニ於テ其大ヲ成ス人ハ行事ニ於テ
- ⑤ 更ニ其大ヲ成ス
- ⑥ 考思想像ノ才ト實用事務ノ才トヲ論ズ
- ⑦ 學術ノ大家ニシテ事務ノ才アリシ人
- ⑧ 拿破崙學者ヲ選用セシ事
- ⑨ 勤敏ナル人ハ餘暇ヲ造リ事業ヲ看出ス
- ⑩ 癖好ノ事ハ勉強ノ性ヲ生ズ

- ① 癖好ノ事ハ職業ノ餘暇ヲ以テ爲ベシ
- ② 政務ノ餘暇ニ著述ヲ以テ樂トナス人
- ③ 英國政事者ニシテ文藝ヲ嗜ミシ人
- ④ 列維斯ノ事
- ⑤ 列維スト同時ナル政事文學ノ人
- ⑥ 有用ニシテ且希望アル工作ハ健康ノ益アリ
- ⑦ 腦力ノ作工ハ他ノ作工ト勞逸同ジ
- ⑧ 作工ハ適度ナルベシ過度ナルベカラズ

① 於正氣盛衰十之九不盛衰十之九不盛衰
 ② 懶成之於工ハ斷不於工ハ斷不於工ハ斷不
 ③ 學術ハ於其大ヲ成ス人ハ行事ニ於テ
 ④ 亦用夫ニ成且希望テハ工ハ對衆ハ益
 ⑤ 學藝同也ハ實知事ヲ學ビ人ヲ論ス
 ⑥ 學藝同也ハ實知事ヲ學ビ人ヲ論ス
 ⑦ 英國之事業ヲ運テ文學ヲ習ヒ人
 ⑧ 如蘇ノ領地ニ業振リ以テ樂業ヲ看ス
 ⑨ 蘇ノ事ハ業振リ以テ樂業ヲ看ス



西洋品行論

第四編

勞作

ノ即チ

夫

論

ノ

聖書
 聖書
 聖書

聖書コリナス(歴)ニ曰ク金銀銅鐵多シ汝其勞作
 七ヨ上帝汝ヲ祐クベシ
 トスカニ一ノ諺ニ曰ク奮發シテ工夫ヲ做ス
 時ハ汝永久生活スル如キ思ヲ為スベシ拜
 跪祈禱スル時ハ汝目前死ニ臨ムカ如キ思
 ヲ為スベシ
 設爾加克曰福ナル哉作工ノ人ニ於ルヤ作
 工ヲシテ果シテ神ノ責罰ナラシメバ神ノ



福ハ。又如何ゾヤ。西シド德ド尼ニス斯ス密ミ士ス曰ハク人各ヒトノソノ性セイノ能ノスル所トコロノ
 職業シゴトヲ勉ツクムベシ。而シテノ死シスル時トキニ善ニク職分シゴトノ
 ヲ盡ツクシタリ。自ミヅカラシテ良心リョウシンヲ満足マンダクスルヲ
 得ユルヲ期ヲスベシ。勞ロウ作サツハ尊ソウ榮エイナリ。曰ハク善ニテ工夫コフクヲ
 加カシ及ヒビ勞ロウ作サツスルハ人ヒトヲシテ實際ジツケン上ノ
 工夫コフクヲ做スシ及ヒビ勞ロウ作サツスルハ人ヒトヲシテ實際ジツケン上ノ
 品ヒン行コウヲ形カタツク。シムル最トモ善ニ敷シ教師キョウシナリ。何ナニニ
 ト大オホニシテ工程コウケイヲ做スヨリシテ諸モロカ徳行トクコウ發生シス。即ス
 チ從順ジュウジュン自治ジチル。注意チュウイ使用シヨウ忍耐ニハク此コノ如ノキ才徳發サイトクハツ

生ナセリ。又之マタヨリシテ其做ス所トコロノ職業シゴト益トク精巧セウコウニ
 至ツキリ。人生ニンゼン日用ニヨウノ事務シゴトヲ處辨オウベンスル益トク敏速ミンソク便利ベンリニ
 至ツキル。ナリ。由ユリノ律法リツポフナリ。即スチ人衆ニンシュウ及ヒビ邦國ホウコクヲシ
 テ進歩シンポシテ已ヤガラシムルモノナリ。蓋シテ世セニ兩
 手テヲ以テテ操作サウサツシ之ノヲ以テテ口糧コリョウヲ得ユル者モノ夫數フスウニ
 居スル。コレ已ヤヲ得ユズシテ勞作ロウサツスル者モノニシテ必カナラシ
 モ皆甘心カウシンシテ作工サツコウスルニ非ズ。然シテモ人ヒトタルモ
 ハ皆作工サツコウシテ有生シヨウノ樂ラクヲ消受シヨウセザルベカラズ。
 ソノ作工サツコウスル種類シュルイニ千差萬別センサマンベツアリ。何ナニナリトモ

擇ビ取テ。勞作ヲ為^{ナス}。當然ナリトス。筋骨ヲ勞シ
 テ作工スル。及ビ心機ヲ費ヤシテ作工スル。一
 何モレ^シ。ボル^ル。勞作^{ナリ}。コノ勞作ハ。人或ハ重荷^ニ
 ヲ負^{オフ}ガ如クニ思ヒ。責罰ヲ受ルガ如クニ思フモ
 ノモアルベシ。然レ。勞作ノ人ニ於ル。ソノ實ハ。尊
 榮ナリ。光榮ナリ。勞作ナケレバ。天下^一物モ成就
 セラレベカラズ。凡人ニ於テ。大^ニ事業ト曰ルベキ
 モ。勞作ニ由テ生ジ來ラザルモノナシ。所謂^レシ
 リゼ^レ。ヨ^ク。開化之事^ハ。勞作ヨリ生ズル産物ナリ。
 是故ニ若シ^モ。勞工ヲシテ廢止セシメバ。亞當^ノ人

種ハ。忽チ^モ。ラ^ル。デス。善德ノ死ニ由テ。衰亡滅絶
 ニ至ルベシ。

二。懶惰ハ禍殃ナリ。人ノ禍殃ハ。勞工ニ在ズシテ。懶惰ニ在リ。懶惰ハ
 人ノ中心ヲ蝕蝕シ。并ニ邦國ノ中心ヲ蝕壞ス。恰
 モ鏽ノ鐵ヲ腐スガ如ク。人心ヲモ邦國ヲモ消滅
 セシムルモノナリ。亞カ^キ。山大^ノ。百爾西亞^ヲ。征服
 シ。ソノ風俗情態ヲ觀ル。機會ヲ得タリシ時。言ケ
 ルハ。百爾西亞人ハ。歡樂ノ生涯ヲ尊^クミ。勞苦ノ生
 涯ヲ賤ムヲ知ルノミ。歡樂ヲ事トスルハ。卑陋ナ

ルヲ知ズ。勞苦ヲ事トスルハ尊榮ナルヲ知ズ。況
 ヤ帝王奴隸ノ外ニ真榮真辱ナル物事アルヲ知
 ンヤ羅馬ノ帝賽非虜リヌスグラムピアンスト云ル山
 ノ麓ヨリ挑チカ床ニ載カラレ。約ヨル克ニ至リ。將ニ死セン
 トスル時。ソノ將士ニ授クル最後ノ暗號ノ語ハ。
 「ボレミヌス」必ズ勞作ス當シニテアリシナリ。實
 ニ羅馬ノ大將。ソノ勢力ヲ天下ニ震ヒ。ソノ權威
 ヲ四方ニ張リシ其原由ヲ推スニ。常々ノ勞苦ヨ
 リ。外ハアラズ。

三 羅馬興亡ノ源

往古意大利人民ノ情狀ハ。田野鄉村ニ住スル尋
 常職業ヲ重ンジ。極高ナル官爵ノ人。之ヲ爲トモ
 不適當トセザリシ故ニ。凱旋セシ羅馬ノ大將士
 卒。兵隊ヲ解トキハ。甘心シテ農ニ歸シ。手ニ耒イシ耜シ
 ヲ執トタリ。普理尼リニノ羅馬馬有名史家其時ノ事ヲ言テ曰。其
 田地ハ。大將ノ手ニテ耕サレ。其土壤ハ。賞牌ヲ冠カス
 リタル犁リ鑿ザンノ下ニ開墾セラル。而メ農夫ノ之ヲ
 導ク者亦。戰勝ノ功勞アリシモノナリ。カク古ヘ
 耕農ヲ重ゼシモノ。後ニ勞作ノ事ヲ輕賤スルニ
 至リシハ。奴隸ヲ用ヒテ。百般ノ勞工ヲ爲シメシ

ニ始レリ。幾何モナク羅馬上等ノ種族即チ權勢
アル種族ソノ行狀懶慢ニシテ快樂奢侈ヲ事ト
シタレバ亦遂ニ幾何モナク衰亡ニ迫リタリ。嗚
呼。勞工ヲ尊ンデ羅馬興リ、勞工ヲ賤シンデ羅馬
亡ブ。ソノ成跡歷然。帝ニ之ヲ鏡ニ懸テ見ル如キ
ノミナラズ。

④懶惰ハ最モ戒シメザルモカラズ
人ノ自然ニ傾向スルトコロノ性質ニシテ最モ
謹ンデ戒シメザルベカラザルモノハ懶惰ナリ
即チ安逸ヲ好ム性質ナリ嘗テ一ノ智識アル外

國人。世界ヲ周遊スル者アリシガ。ガル子ト君。其
人ニ問ラク。君ハ始ト全世界ノ情狀ヲ察觀セラ
レシナラン。人類ノ性質ニ種々アレバ。一般ニ行
ハル。性質ハ何物ゾト。イヘバ此人對ヘテ世界
一般ニ人ハ懶惰ヲ好ムト言シトナリ。蓋シ懶惰
ハ專權ノ君主ニモ多ク。野蠻ノ人民ニモ多キ性
質ナリ。通常ノ人ハ勞苦ヲ避ケ安逸ヲ事トシテ。
坐ナガラ他人勞工ノ產物ヲ享用セン。一ヲ欲ス
ル。恰モ性トシテ有スルモノ、如シ惹迷士。彌爾
論ニ曰。世上一般ニ懶惰暇逸ヲ愛好ス。之ヲ防

過スル便益ノ法ヲ求メテ。遂ニ寧費額ヲ出スト
モ。政府ノ建ザルベカラザルヲ發明シタリシナ
リ。

⑤懶惰ハ人ノ品格ヲ降黜セシム
懶惰ハ各人各箇ノ品位ヲ降黜セシメ、并ニ邦國
一體ノ品格ヲ下賤ナラシム。怠慢ハ人ヲシテ世
上ニ表明顯著スル下ヲ爲シメズ。人ヲシテ世ニ
汨没沈埋セシムルモノナリ。偷安ハ決シテ丘山
ニ攀上ル能ハズ。避ラルベキ困難ニ勝テ能ハズ。
貪安ハ世ト何事ヲモ成就スル能ハザル者ナ
リ。

リ。蓋シ懶惰ノ人ニ於ル。苦難ナリ。障礙ナリ。惡臭
ナリ。常ニ人ヲシテ無用ナラシメ。愁歎不平ナラ
シメ。憂鬱昏冥ナラシメ。窮苦淒涼ナラシムルナ
リ。

⑥懶惰ハ憂愁ノ由テ起ル原因ナリ
薄爾敦人著セル「アトミ」ヲラメシコレ憂愁ノ解剖
ハ古怪新奇ナル書ナリ。潤孫曰。我ヲシテ毎朝起
ント欲スル時ヨリ二時早ク。床ヨリ起サシメタ
ルモノハ。獨リコノ書ノミト。コノ書ニ憂愁ノ由
テ起ル原因ヲ主パラ懶惰ニ歸セリ。曰。懶惰ハ身

體及ビ精神ノ毒ナリ、厭惡スヤキ者ヲ長ズル乳
 母ナリ。百害ヲ生ズル主母ナリ。七死罪ノ其一ナ
 リ。惡魔ノ枕蓐ナリ。懶惰ナレバ、狗スラ棄ラル。況
 ヤ人ニ於テヤ抑モ心思ノ懶惰ナルハ、身體ハ懶
 惰ハリハ、惡キヲ更ニ多シ、機智敏才アル人ト雖
 也。職事ナクシテ空閒ナレバ、ソノ才智ハ一箇ノ
 病ナリ。ソノ病ハ、靈魂ノ鏽ナリ。又懶惰ハ、瘟疫ナ
 リ。一ノ地獄ヲ、ソノ中ニ有リ。死水ノ池ヲ觀ズヤ。
 臭壞ナル蟲、ソノ中ニ爬行セリ。之ニ似テ、懶惰ナ
 ル人ハ、壞惡ナル考思、ソノ靈魂ヲ汚穢スルナリ。

是故ニ予ハ痛切ニ之ヲ言ント欲ス。男女ニ限ラ
 ズ。地位遭際ヲ問ズ、苟モ懶惰偷安ナレバ、富饒ナ
 ル能ハズ。幸運ヲ得ズ。安樂ナル能ハズ。縱ヒ十分
 ノ福祉ヲ得テ、心滿意足ルト雖モ、苟モ安佚怠惰
 ナレバ、其心モ、其身モ、決シテ安樂ナル能ハズ。快
 適ナル能ハズ。尚且、疲勞ナリ。尚且、疾病ナリ。尚且
 懊惱シ。尚且、嫌惡シ。尚且、哭泣シ。尚且、嘆息シ。尚且
 悲傷シ。尚且、猜疑シ。世間一モ、其意ニ合フモノナ
 ク。萬物一モ、己ニ忤逆セザルモノナシ。自ラ其身
 ヲ持餘シ。或ハ死セント欲シ。或ハ種々ノ蕩志迷

魂ノ事ニ身ヲ委子ント欲スルニ至ルナリ。
 薄爾敦ノ書ニ懶惰ノ害ヲ暢論シ。タゞ數言ヲ以
 テ大局ヲ了ス語簡ニシテ意長シ。曰。汝若シ汝ノ
 福祉。汝ノ身心ノ健安ヲ以テ憂愁ナル者ニ獻ズ
 ルヲ欲ゼザレバ。コノ寶訓ヲ守ルベシ。曰。閑寂ナ
 ル勿レ。懶惰ナル勿レ。太。モ安樂ナク非ハ。汝
 七懶惰ノ鬼ハ人ヲ難マヌ。又懶惰ノ人ハ。其計
 懶惰ハ全ク懶惰ニシテ心調ナルモノカト云ニ。
 決シテ然ラズ。懶惰ノ人ソノ身體ハ。勞苦ヲ免カ
 ルベケレド。ソノ頭腦ハ。必ズ懶惰ナル能ハズ。譬

バ土地ノ如シ。良田トナリ美穀ヲ生ゼザレバ。必
 ズ荒廢シテ稂莠ヲ生ズベシ。懶惰ノ人亦然リ。一
 生人間ソノ心田常ニ荆棘蔓生スルヲ見ルベシ。
 懶惰ノ鬼ハ。暗黒ノ中ニ顯レ出テ。怯懦ナル顔ヲ
 睨テ。其人ヲ難マシムルナリ。詩ニ曰。其
 昏庸神ハ公正ナリ。人ノ歡樂ノ邪惡。即チ轉ジテ
 其人ヲ苦シメ。鞭撻スル器具トナレリ。キ
 八福祥ハ職務ヲ勉ル中ニ在リ。由來
 真正ノ福祥安寧ハ。五官四肢ヲ運用セザル中ニ
 非ズシテ。有用ノ職務ヲ勉メ行フ中ニ在リ。麻痺

癱瘓ノ中ニ非ズシテ。運動活潑ノ中ニ在リ、人ノ
 生命健康快樂ヲ損耗スル者ハ。行爲ニ非ズシテ。
 懶惰ニ在リ。人ノ精神ハ。職業ヲ做スニ由テ。消亡
 セズ。却テ懶惰ニ由テ。喪失スルナリ。是故ニ一ノ
 知識アル醫師。常ニ人ノ職業ニ従事スルヲ以テ。
 療養法ノ最善ナルモノト爲リ。醫者馬緒爾荷爾
 曰。人身ノ害ハ空閑ナル時ヨリ大ナルハナシ。馬
 延士ノ教大長常ニ曰。人ノ心ハ磨石ノ如シ。麥ヲ
 其下ニ置バ。麥ヲシテ粉末トナサシム。或ハ麥ヲ
 置ズトモ磨石ハ自ラ磨シテ消耗スルナリ。

九 懶惰ナル人ハ遁辭ヲ爲ヲ務ム
 懶惰ナルモノハ。常ニ托辭多シ。懶惰ナル者ハ。勞
 作スルヲ欲セザレド。毎ニ道理ヲ付テ。遁辭ヲ
 爲ルヲ務ム。曰。獅子アリテ道ニ中ル。曰。コノ丘山
 ハ登リ難シ。曰。此何ゾ試ミ爲ヲ用ヒンヤ。曰。我コ
 レヲ試シニ失敗セリ。之ヲ做ス能ハズト。羅彌爾
 禮嘗テ一少年ノ懶惰ニシテ托辭ヲ爲シ。其非ヲ
 文ル者ニ書ヲ與ヘテ曰。足下懶惰ニシテ空シク
 光陰ヲ費シ。之ヲ以テ非トセスシテ。遁辭ヲ作レ
 リ。余思フニ。足下ノ自己ニ道理ヲ付ルハ。他ナシ。

勞カヲ嫌ヒ怠惰ニ安ズルヲ慣習トナルノミ。今
試ニ足下ノ理論ヲ伸シニ。人各何ニテモ善爲ス
コトハコレヲ能スル故ナリ。若シ人アツテ善爲サ
ルハ善ク爲ス能ハザルノ證ナリ。書セザルハ書
スル能ハザルノ徵ナリ。志向ノ欠乏ナルハ才能
ノ欠乏ナルノ徵ナリト。カクノ如キ理論ハ縱ヒ
一世ニ是ナリト許サル、トモ何ノ利アラシヤ。
⑩ 勞セザレハ獲ルコトアルベカラス
世上ニ言傳ルノ語ニ曰、勞セズシテ獲ルコトヲ欲
スルハ其人ノ柔弱ナルヲ徵スベシ。故ニ凡ソ事

コレヲ已ニ獲シト欲スレバ唯勉力ノ價ヲ拂フ
ベシト誠ニコノ言ヤ。實事上ニ功ヲ奏スルノ秘
訣ナリ。蓋シ勉力ハ閑暇ヲ買フベキ價ナリ。閑暇
ヲ獲シト欲スレバ、勉強スベシ、然ラレバ之ヲ贏
取リ、消受スル能ハズ。若シ勉力ニ由テ閑暇ヲ聽
ケ得ザレバ、勉力ノ不足ナル。即チ價銀ノ不足ナ
ルナリ。
⑪ 勞工ヲ己ノ前後ニ置ベシ
人常ニ勞作スベキ業程ヲ己ノ前ニモ己ノ後ニ
置クベシ、而シテ暇餘ヲ以テ休養スベシ。作勞ナ

キノ閑暇ハ、樂ナクシテ苦アリ、恰モ放飯シテ胃
 ヲ損スルガ如シ。消受スベキ樂アラシヤ。懶惰ハ
 人ハ、人生ヲ嫌ヒ、惡ムナリ。富テ懶惰ナル者、及
 ビ貧ウシテ懶惰ナル者、皆當ニ做スベキ者ヲ有
 タズ。有ツト雖、氏作為スルヲ欲セズ。カクノ如キ
 輩ハ、豈人生ノ樂シムベキヲ知ラシヤ。法國ポール千
 ノ獄ニ、八度囚レシ四十歳ニナリシ乞丐者アリ。
 其右臂ニ彫ヲ為タル語ニ曰、過去ハ、我ヲ欺キタ
 リ、現今ハ、我ヲ苦シム、未來ハ、我ヲ戰慄セシムト、
 コノ語ヤ。遍ク天下ノ懶惰人ノ記號ニ用フルモ

可ナラン。

⑤ 勉強ハ人ノ職分ナリ

勉強ハ、人ノ職分ナリ。勉強ノ職分ハ、人民社會ニ
 通ジ、諸ノ種類、諸ノ遭際、一同ニ逃レ得ベカラズ。
 故ニ貴賤ノ別アルナシ。一例ヲ舉バ、富産ノ家ニ
 生レテ且、教育ヲ受タル人アラシニ、此人ハ、ソノ
 享有スル福ヲ、自己ニ私スルノミニテハ、意ニ於
 テ足ザル所アルベシ。務テ之ヲ他人ニ施スヲ以
 テ職分ト為シ、必ズ之ヲ為シテ然ル後、心ニ快ヲ
 覺ユベシ。人誰ニテモ、他人ノ勞苦ニ頼テ、己ハ飽

食暖衣シ。安樂ヲ坐享シ。而ノ人間社會ニ向ヒ。何
ナリトモ。當然ノ返報ヲ爲ザレバ。其心ニ於テ。必
ズ安カラズ。コレ酒肉舖ニ入り。充分ニ飲食シ。價
錢ヲ拂ハズシテ。出去ルト。何ゾ異ナランヤ。念一
タビ此ニ至レバ。正經ナル人ハ。愧且懼レザルヲ
得ンヤ。懶惰ニシテ無用ナルハ。正經ニ非ズ。權利
ニ非ズ。故ニ懶惰無用ニ安ズルハ。卑流劣品ノ人
ニ非ザルヨリハ。苟モ忠實ニシテ志氣アリテ中
等ノ才ヲ具フル人。コレヲ以テ恥辱トナサミル
ハナシ。蓋シ其心ニ曰。懶惰無用ハ。決シテ真正ノ

榮華真正ノ尊貴ト相合ハザル者ナリ。

三 職業ハ人ヲシテ安寧福祥ヲ得セシム
勞爾德斯州禮嘗テ額拉士哥ノ學校生徒ニ説諭
シテ曰。額拉士哥ノ中ニ一人タリ。凡職業ニ從事
セズシテ。實ニ安寧福祥ナル者アリヤ。古ニモ今
ニモ。決シテコレ有ルベシトハ。信ゼザルナリ。縱令
其人温順シテ體面善ト雖。凡勞苦ノ業ナクシテ
安樂ノ心ヲ有テル。一ハ決シテ得ベカラザル理
ナリ。語ニ云ズヤ。勞工ハ人類ノ生命ナリト。汝ハ
汝ノ爲シ得ル。一ヲ我ニ示スベシ。我ハ汝ニ示ス

ニ汝ハ何物ゾトイフヲ以テスベシ。我嘗テ曰ク
 人ノ作工ヲ愛好スルハ。下劣陋惡ナル趣味ニ陷
 ルヲ防グ絶好ナル城寨ナリ。我今之ニ繼テ言
 ント欲ス。作工ノ人ニ於ルヤ。亦自ラ私ニスルノ
 心ヨリ生ズル瑣細ナル憂愁煩惱ニ抵抗スル障
 塞ナリト。抑モ今日ヨリ前ニ。世ノ人屢辛苦煩擾
 ヲ逃レ避テ自己ノ一世界ニ躲レ入レ。コトヲ欲シ
 之ヲ試ミタリ。然ルニ屢試ミタレドモ。ソノ結果ハ
 常ニ不能ノ二字ニ歸シタリ。人タルモ。ハ煩難
 辛苦ヲ免カル。一能ハズ。煩難辛苦ハ人ノ命運

ナリ。是故ニ煩勞ノ事已ニ至ル時若シ進テ之ニ
 向ハズ。恐懼シテ之ヲ避ル者ハ。遂ニ煩勞ニ赴付
 カレ。其初メ避シコノ益ナキヲ知ルベシ。懶惰ノ
 人ハ。コノ世界ノ勞工作業ヲ多ク為ヲ欲セズ。成
 ベキ丈少ナク勞スルヲ務ム。然レ天地自然ノ理。
 決シテ之ヲ許サズ。ソノ勞工ヲ嫌フ性情ハ。人ニ
 ハ。些少ノ勞工ニテモ。許多ハ艱難ヲ覺ハシムル
 ヲ務ムルナリ。故ニ勤勉ノ人ハ。多ク勞工シ急情
 ノ人ハ。少ナク勞工シソノ多少ハ。異ナレド。心中
 吾覺スル勞苦ノ分量ハ。大抵同ジキナリ。吾觀ル

世ノ安逸ヲノミ求ムル人ハ必ズ反ツテ困難ノ
 事ヲ得ルヲ蓋シ日ニ安逸ニ慣フヨリ身心日ニ
 益柔弱ニナリ。小々ノ職令テモ負荷ノ重キニ
 堪ザルニ至ル。又安逸ヲ事トスル自然ノ天罰ト
 シテ小事ヲ恐レ大利ヲ失ヒ其心ハ常ニ無用ノ
 憂悶ニ消耗シ。幻景ノ苦惱ニ沈没シ。遂ニ其心ヲ
 ヲシテ一モ有用ニシテ且健康ナルヲ得ザラシ
 ムコレ他ナシ。頭腦ヲ空閑ニシタルニ由リ憂苦
 ニ沾領セラレタルナリ。昔ハ道ヲ修メニ致シ
 西勞苦ヨリシテ快樂ヲ生ズ昔ハ道ヲ修メニ致シ

勞作ノ人ニ益アルヲ今一層低度ヨリ論ジ特
 ニ身體上ノ快安ヲ得ルヨリ論ズレバ勞作ハ人
 ニ於テ決シテ無ルベカラズ何ニテモ常ニ必ズ
 有用ノ職業ニ從事スベシ斯格的曰睡眠善ク熟
 スレバ醒時ハ快適安寧ナリ而シテ其時辰ヲ有用
 ノ職業ニ善用スルヲ得ベシ人苟モ或ハ文學或
 ハ工藝或ハ事務總シテ何ニ限ラズ時辰ヲ有用
 ニ消シ少ナリトモ勞苦ヲ覺フルトモハコレヨ
 リ聽ケ得タル閑暇ハ真ニ快樂舒泰ナルヲ覺フ
 ベキナリ。

⑤ 勞作ハ人ノ生ヲ傷ラズ

人過度ニ勞作スルニ由テ死スルト曰フ。ト全非ナ
 リトスベカラズ。然レ人ノ死スルハ自ラ私スル
 一及ビ放縱及ビ懶惰ニ由ル。最モ多トス。情過度
 ニ勞作シテ其生ヲ傷ルトイフ人ヲ觀ルニ。大抵
 ソノ生活ノ情狀ニ於テ。當然ナル規則循序ヲ欠
 キ或ハ身體ヲ健康ニスベキ通常ノ法規ヲ忽セ
 ニスル者ナリ。勞爾德斯丹禮當テ額拉士哥ノ學
 校ニ生徒ニ説諭シテ曰。余常ニ疑ガフ。勤勉勞作
 ノ事ノ未ダ嘗テ人ノ身體ヲ傷リシ日有ヤ無ヤ

ト。然レ余ハ勤勉勞作苟モ常度ヲ守ツテ變ゼズ。
 規則ヲ立テ進ミ做タラシニハ。決シテ生ヲ傷ル
 一アルベカラズト信ゼリ。

⑥ 人壽ノ長短ハ行事ヲ以テ算スベシ

長壽ハ年歳ハ長ヲ以テ數フベカラズ。壽命ノ實
 ヲ知ラント欲セバ宜ク其人一生ノ間為行フ事ト
 自ラ覺感スル者トヲ以テ之ヲ算スベシ。懶惰ニ
 シテ無用ナル人ハ。縱ヒ何程長壽ヲ得タリトモ
 生活スル一物ニ過ザルノミ。

⑦ 教法師勞苦ノ職工ヲ作シ事

古代基督教ノ教師ハ、勞苦ノ職工ヲ作シ、後代ニ
 マテ、尊貴ナル儀範ヲ遺セリ。保羅曰、勞工ヲ作ザ
 ル人ハ、宜シク食フベカラズト、サレバ保羅自ラ
 兩手ヲ以テ勞作シテ、生活ヲ做シ、決シテ他人ヨ
 リ費用ヲ仰ガザリシナリ。先賢ポニヘース英國ニ
 著岸シタリシ時ハ、一手ニ聖書ヲ携ヘ、一手ニ工
 匠ノ規矩ヲ持リ、其後日耳曼ニ至リ、建築術ヲ彼
 ニ傳ヘシ。言リ路暢亦種々ノ事業紛繁ナリシ
 中ニ、園林ヲ治メ、房屋ヲ建テ、轆轤ヲ轉ジ、時辰鐘
 ヲ作ル等ノ工職ヲ勤メテ、麵包ヲ得タリシトナ

リ。
 (大) 極賤ナル勞工、亦社會ノ福祉ヲ増ス
 拿破崙嘗テ巧妙ナル一ノ器械ヲ觀ニ往レシト
 キ。ソノ創造シタル工人ニ對シ、恭敬ノ儀容ヲ顯
 ハシ去ントスルニ臨ミ、卑ク身ヲ屈メ、揖ヲ作レ
 タリト。又拿破崙仙希列納ニ在リシ時、嘗テ夫人
 バルコムベト共ニ歩行セシニ、廁役ト覺シキ者
 數人、荷物ヲ擔ヒ來レリ。バルコムベ協ヘ避ヨト
 聲ヲ掛タレバ、拿破崙之ヲ止メテ、夫人ヨ担子ヲ
 敬禮セラレヨト云レタリ。蓋シ至卑至賤ナル勞

工ト雖ハ決シテ真正ノ卑賤トハイフベカラズ。
コノ極賤シキ辛苦ノ職業亦一國社會ノ福祉ヲ
増ス所以ニ於テ必ズ與カツテカアリトス善カ
ナ支那ノ帝ノ言漢文帝ニ曰一夫耕サザレバ必
ズ其飢ヲ受ル者アリ。一婦織ザレバ必ズ其寒ヲ
受ル者アリト。

⑨職業ヲ作スヲ以テ慣習ト成シムベシ
常ニ有用ノ職業ヲ作スヲ以テ慣習トナラシム
ルハ男女ノ差別ナク福祥安樂ヲ得ル根原ナリ
就中婦人若シ職業ヲ作ザレバソノ心ヲ用フル

所ナク散漫恍惚タル情狀ニ沈ムベシカクノ如
クナレハ獨リ無用ナルノミナラズ頭痛ヲ患ヒ
神經病ヲ醸スヘシカロラインペルセス婦人名嘗
テソノ女子ノ出嫁セシモノヲ箴シメテ曰予兒
子輩ト共ニ居レバ左モ無ケル好日ニ兒子盡
ク出行トキハ予時トシテ精神鬱陶トシテ昏々
眊々タル恰モ白晝ノ鷓鴣ニ似タルヲ覺フ然ル
ニ予ノ然ラズ少キ婦人大抵コレ有ルヲ免カ
レズ善ク注意シテ隄防スベシ。一モ或ハソノ情
狀ニ任セ慣習トナラシムル勿レ抑モ之ヲ隄防

レ醫治スルノ方法ハ勞作ヨリ善ハナシ。或ハ此
 事。或ハ彼事。常ニ勤メテ精神ヲ用ヒ、肢體ヲ使
 フ。不レシ。汝ノ祖父常ニ懶惰ハ魔鬼ノ陷阱ナリト
 イヘル。諺ヲ誦シ。實ニコレニ相違ナシト言レタ
 リキ。 (三) 職業ハ心靈ヲシテ活潑ナラシム。常ニ
 有用ナル職業ニ從事スルハ。獨リ身體ヲ健
 康ニスルノミナラズ。心靈ヲシテ活潑ナラシム
 ルヲナリ。怠惰ナル人。或ハ幸ニ德行ニ死ト靈魂
 ノ死トニ至ラサルマデモ。一生ノ間極好ノ分ハ

深睡ニ沈メリ。然ルニ奮發勉カスル人ハ敏快ニ
 シテ且快樂ナルガ故ニ之ニ近ヅク人ヲシテ盡
 クソノ感化ヲ受ケシム。猶水ノ源アルガ如ク之
 ヲ汲メトモ竭ザルナリ。極賤ハ工役ヲ為ス人ト
 雖モ懶惰ハ人ニ勝ル。百倍ナリ。夫爾列爾嘗テ
 弗蘭西。德禮克ヲ評シテ曰。彼人ハ幼少ヨリ辛苦
 忍耐ノ事ソノ心靈ニ膠付シ凝結シテ一體トナ
 レリト。德氏ハ早年ヨリ水軍ニ入り善クソノ業
 ヲ勤メタリシ人ナリ。昔爾列爾常ニ言ケルハ。余
 思フニ何ニテモ毎日專一ニ手業ヲ做シ職分ヲ

盡スハ大有益ノ事ナリカクスルニハ常規ヲ立
テ之ニ遵カヒ中止セズ改變セザルベシ

廿 勞作ヲ勤ルハ幸福ヲ得ル大秘訣ナリ
法國ノ畫工額斐曰勞作ノ事即チ職役ヲ執ル事
有用ノ工業ヲ勤ムル事ハ人世ノ幸福ヲ得ル大
秘訣ナリトコノ言ノ真理タルヤ其事證啻千百
ノミナラズ加曹本嘗テ其友人ニ誘引セラレテ
數日間ノ休業ヲ爲ントセシニ加曹本幾時モナ
ク再ヒソノ業ニ立復リテ言ケルハ病ヲ忍ンデ
何事ヲ做スト雖バ一事ヲ做ザルヨリハ快安ナ

ルヲ覺ユ

廿 勞工ハ上帝ノ命ニソ人ノ情狀ナリ
窩爾打斯格的ノ實事ヲ務メ勤勉ニシテ倦ナキ
ハ世人ノ知トコロナリ洛寡的之ヲ評シテ曰古
今萬國ヲ概シテ斯格的ノ如キ剛毅ナル勢力ア
リ兼テ心志容儀ニ嚴肅ナルモハヲ存スル者ハ
卓犖傑特ナル帝王將帥ハ中ニ於テソハ比偶ヲ
求ムベシ之ヲ特ニ文藝ノ英才アル人群中ニ求
ムベカラズト斯格的ソノ兒子ノ心ヲ覺感スル
ニ勉強ノ最要ナルコトヲ以テシコノ世界ノ幸福

ヲ得。コノ世界ノ利用ヲ享ル所以ノ方法ハ。他ニ
 非ズ。勉強ノミト訓ハタリ。ソノ子查爾斯學校ニ
 在ル時。之ニ書ヲ贈ツテ曰。人何ノ地位ニ在。ヲ論
 ゼズ。勞工ヲ作。ハ。上。帝ノ命ニシテ。人タルモ
 ノ。情狀ナリ。田農ハ。頼ヨリ。汗ヲ出サレバ。麵
 包ヲ得ル能ハズ。富人ト雖。ソノ幽鬱ヲ開カン
 ト欲セバ。行步奔馳ノ勞ヲ爲シテ。遊觀漁獵ノ樂
 ヲ取ザルベカラズ。故ニ。勞作ナクシテ。有益ノ物
 ヲ得ルハ。決シテ。無ノ理ナリ。或ハ。勞工ヲ要セ
 ズシテ。嬴得スルモノ有。トモ。ソノ物ハ。決シテ。用

ニ中ラズ。價ナキモノナリ。人ノ學問智識ニ於ル
 亦然リ。勞工ヲ作ザレハ。人ノ心ニ植付カタシ。恰
 モ土地ノ如シ。豫ジメ。犁鋤ヲ用ヒ。墾闢スル。勞工
 ヲ爲ザレバ。禾麥ノ田トハ。成ガタシ。抑モ世ニ偶
 然ノ事アリテ。甲ノ種ルトコロノ者ヲ。乙ノ蒔
 無ニシモアラズ。然ルニ。辛苦シテ。得ルトコロハ
 學問ハ。偶然ノ故。或ハ。不幸ノ事ニ由テ。奪ハルベ
 カラス。悉皆己ノ用ニ供スルナリ。吾子ヨ。宜ク。勞
 工スベシ。而メ。光陰ヲ善ク用フベシ。少年ノ時ハ。
 歩ヲ進ムル。輕ク。心導カレ。易ク。學問ヲ積上ル。ト

易シ。然ルヲ若シ春日ニ當ツテ怠惰スレバ夏時
 ニ至リ無用トナツテ藐忽セララルベク。秋收ノ節
 ハ糠ヲ得ルノミ。而シテ冬ノ老年ハ荒廢ニ歸シ
 テ他人ニ賤マルベシ。不幸ニ由テ是レハ
 無ニ其勞工ハ掃謝ノ宗教ナリ。掃謝ハ勉强勞作セル人ニシテ甚ダ斯格的ニ似
 タリ。勞工ハ掃氏ノ宗教ナリト云モ可ナリ十九
 歳ノ時コノ語ヲ書シテ曰嗚呼十九年ナル哉吾
 生ノ四分ノ一ハ切ニ過タリ然ルニ余未ダ社會
 上ニ於テ能ク役ヲ為スコアル能ハズ野人一日

二錢ニシテ鳥鳥ヲ恐嚇スルモ我ニ比スルハ有
 用ナル人ナリ。彼ノ貯フル麵包ヲ我ハ懶惰ニシ
 テ坐食セシト掃謝カクハ言レトモ勉强ナ
 ル少年ナリ。獨リ英國ノ詞林文苑ヲ涉獵スルノ
 ミナラス答速亞利阿斯和馬阿比的著書ヲ英
 譯ニ由テ閱覽セリ。然ルニ自ラ目的ナクシテ生
 涯ヲ送ルヲ患ヒ何事ナリトモ作シトシテ志ヲ
 定メタリコレヨリ後藝文ニ從事シ勞苦シテ工
 フ輟ズ以テソノ生ヲ終タリ。嘗テ言テ曰吾學問
 日ニ進ムハ貧窮ニ及バズ貧窮ハ自重ニ及バズ

自重ハ安樂ニ及バス

④用スル箴言ハ其人ノ品行ナリ
 人ノ自ラ箴言トシテ用フルモノ。屢其人ノ品行
 ヲ顯スヲナリ。故ニ斯格^{スコット}的ノ箴言^{子ハアトトビトイ}
 テ、^{テ有}ベカラズハ。即チ斯格^{スコット}
 的ノ品行ナリ。作史家^リ羅伯遜^{ハ十五歳ノ}
 時ニ用ヒタル箴言ハ「^{アイブ}オウツト^ト」トシテ、^{イマ}テス
 學知ナキ生ハ死ナリ。勃爾對標識ニ用ヒシ語ハ
 「^{ヨル}オウツト^モ」トシテ、^{オウルク}常時勞作ナリ。本草家^ラ拉設白^ハ
 ノ好ミシ箴言ハ「^トール^ラ」トシテ、^イスラセルズ^ズ生ル所以ハ

觀察ノ為ナリニシテ普理尼亦コレヲ口誦セリ。
 勃修學校ニ在シ時奮熱勉學セシカバ同輩之ヲ
 稱シテ「^ボスシユ^エチ^ユス^アラ^ト」ト呼ビ、^ス耕牛ト呼ビ、^ス瑞典ノ詩
 人^スゴベルクハ「^ビタリス^ス」人生力争ノ語ヲ用ヒ
 ハルデンベルグノ弗列德カハ「^リス^ス」新生命ノ語ヲ
 用ヒ記號トセシカ。何モ英才ハ人々企慕勉強コ
 レニ由テ顯レタリ。
 ⑤勞工ハ規法ナリ又品行ノ教師ナリ
 勞工ハ一箇ノ規法ナリト言傳ヘタリ。又勞工ハ
 品行ノ教師ナリトモ言リ。勞工ヲ作テ縦ヒ見ラ

ル、功驗ナシト雖也。ソノ勞工ハ切ニ懶慢ナル
ヨリハ愈レリ。蓋シ勞工ハ人ヲシテ才能ヲ生ゼ
シムルガ故ニ。後來ニ至ツテ。功驗アリテ利達ス
ル爲メ預備ノ用タルヲ失ハザルナリ。勞作スル
日ニ慣ル人ハ自ラ規法ニ合フヲ能スコレ。勞作
ハ人ニ規法ヲ教フルナリ。就中光陰ヲ空シク費
サズ。預カジメ思慮シテ善用スルヲ教フルナリ。
人生ノ箱ニハ有用ノ職業ヲ以テ其空ニ填シメ
ザルベカラズ。而シテ之ヲ填ル善術ハコレヲ做
行_レノ習練ニ由テ得ラルベシ。一ニ予トノ微

ト雖也。計算ニ漏シムベカラズ。カクシテ得タル
トコロノ暇時ハ快意ニ消受セラルハ。譬_タヘン
ニ物ナカルベシ。
(共)規則アル人ハ光陰ヲ活ス
格列立地曰懶惰ハ人ハ光陰ヲ殺ス。規則アル人
ハ光陰ヲ活ス。規則アル人ハ特ニ光陰ヲシテ知
覺アル物タラシムルノミナラズ。亦光陰ヲシテ
良心アル物トナラシム。カクノ如キ人ハ光陰ヲ
整理シ之ニ界フルニ靈魂ヲ以テ其飛散スル質
ヲ化シテ永存ノ性トナラシムルナリ。規則アル

人ハ光陰ヲシテ已ガ用トナラシム此人ノ年月日時ハソノ一生職分ヲ行ヒタル記録中ノ句讀段落ノ如シコノ世界破壊スト雖モコノ書中ノ年月日時ハ生殘ルベシ過去シ光陰モ之ニ由テ永存スルヲ得ベキナリ人ハ其ノ書中ニ其ノ事ヲ記シテ事務ハ品行ノ教師ナリ其ノ書中ニ其ノ事ヲ記シテ事務ヲ處辨スルニ意ヲ用フルハ自カラ人ヲシテ順便ナル方法ヲ學ビ知ラシムルナリ即チ自カラ人ノ品行ヲシテ規矩ヲ踏シムルナリ故ニ事務ハ品行ノ教師ナリト言リ日用ノ事ニ於テ

他人ト交ハリ勤敏ニシテ寛恕ナル者自カラ處事接物ノ極高ナル才能ヲ學ビ長スルヲナリ事務ハ一家ヲ整理スルト一國ニ關係スルモノトヲ論ビズ人ヲシテ有用ナル生涯ヲ做シムルナリ上章モ云シ如ク家ヲ持スルハ妻ハ事務ヲ處辨スル才扶カルベカラズ蓋シ家中ノ細事ヲ整頓シ管轄シソノ分限合應シ財用ノ節ヲ制シ規制方法ニ從ヒ百事ヲ治辨シ家裡ノ已ニ屬スル者ヲ善ク撫馭スルハ妻タル者ノ職掌ナリ善ク家事ヲ治ムルト云フノ中ニハ勉強勤敏ナル

一、法度ノ正キヲ徳義ノ善ナルヲ預備ノ思慮アル事理ヲ裁度スルノ智アルヲ實用施行ノ才アルヲ品行ヲ造ル知識アルヲ家法ヲ制スルノ才能アルヲソノ中ニ包含セリ凡ソ此等ハ百般ノ事務ヲ處辨スル人ニ非レバ能シガタシ
②事務ヲ處辨スル才最モ有用ナルヲ事務ヲ處辨スルノ才ハ人ノ行爲ニ於テ甚ダ大ナル田地ヲ占タリコノ才アル人ハ事務ニ通達シ人生日用ノ事ニ於テ實地ニ能行ヲ得ルナリ家事ヲ經紀スルニ於テモ何ノ職業ヲ做ニ於

テモ交易賣買ニ於テモ人倫交際上ニ於テモ政治經濟上ニ於テモ之ヲ行フニ精神氣力アラザルヲナレ此諸ノ事務ヲ處辨スルハ他ノ才能ニ比スレバ人生實際上ノ最モ有用ナル者トナス且事務ノ才ハ品行ヲ造ルノ極善ナル規法ナリ何ニナレバ勤勉注意克己裁斷識見恕察ソノ中ニ包含スレバナリ
③實用ノ才能ヲ養フハ觀察經驗ニ在リ家法ノ整頓スルハ安樂福祥ノ自テ生ズル所ノ者ニシテ人生實用ノ功效アルヲ文藝ノ教育ニ

愈リ。靜默ノ思想ニ愈レリ。蓋シ實用ノ才能ハ徒
ニ心智アルヨリ勝リ。又好性情好慣習ハ徒ニ才
能アルノ上ニ居リ。口ヲ實用ノ才能ヲ養ヒ長ズ
ル。ハ他ナシ。特ニ觀察ヲ勉メ經驗ヲ積ニ由テ
得ラルベシ。大將都洛岳ソハ近ゴロ公ヤケニセ
シ書曰。良キ冶鐵匠トナラント欲セバ。終身鐵
ヲ打上從事スベシ。善キ辨理人トナラント欲セ
バ。事務ヲ學ビ行ケルヲ其一生ヲ過スベシト
ナリ。斯格的事務ニ長ズル人ヲ重ンズ。故ニ其

斯格的ハ事務ニ長スル人ヲ重ズル。特ニ甚シ。
常ニ言ケルハ。文事ヲ以テ一世ニ顯ル者ト雖
也。之ヲ何ニテモ實用ノ事業ニ慣熟スル人ニ比
スル能ハズ。縦ヒ加比丹ノ士等ナル者ト雖也。實
務ニ身ヲ委スルハ。崇敬スベキトナリ。
◎世良將ハ預備ヲ爲シ小事ヲ輕シゼズ。計
元帥トナリテ勲功ヲ顯ハセシ人ハ。何事ナリト
モ偶然ニ委セズレテ。預ジメ不意ノ事ニ備ヘ之
ガ用意ヲ爲シタリ。又瑣々タル小事ノ如クニ見
ユル者ヲ輕忽ニセズレテ。必ず子細ニ之ヲ辨理

セリ。是故ニ空林登ハ士班ニ在テ大將トナリシ
時。軍卒ノ為ニ食物ヲ製スル方法ヲ綿密ニ教示
セシコトアリ。印度ニ在シ時。牛ヲ逐テ遅速ノ度
ヲ委シク告令セシコトアリ。其他軍需ノ器用ヲ詳
細ニ治辨シ。一モ漏スコトナシ。是ニ由テ三軍ノ信
服ヲ得テ。ソノ勲功ヲ成シタリナリ。

世良將ハ勞作ヲ辭セズ無限ノ能力ヲ具フ
空林登ハ他ノ有名ノ武將ノ如ク。亦勞作ヲ辭セ
ザル無限ノ能力ヲ具ヘタリ。軍艦ニ乘リモシデ
コ川ノ口ニ在シ時。陸ニハ法國ノ軍ノ待ルアリ。

ソノ中ニテ空林登巡査證書ノ規則ヲ屬稿セリ。
羅馬有名ノ大將談撒ハ。ソノ兵ヲ率井亞耳伯ノ
嶺ヲ過シ時。拉丁レトク善論ヲ論ズル文ヲ作
レリ。ワルレスタイン日耳曼ノ名將ハ六萬人ノ兵ニ將
トシテ。敵軍ト對陣セシ時ニ。ソノ鷄鴨欄ノ畜鳥
ヲ飼フ方法ヲ指示シタリト言リ。
世華盛頓幼年ノ時ヨリ學習ヲ勤メシコト
華盛頓亦事務ヲ擔當シテ倦怠セザル人ナリ。小
童ノ時ヨリ學習ノ事ヲ勤メタリ。ソノ工夫ヲ用
フル定規ヲ立テ。善ク之ニ遵ガヒシトナリ。幼年

ノ時。學校ニ在テ手習ヲセシ替古本。今猶存ス。之ヲ見ルニ。證書手形請取等ノ雛形ニシテ甚ダ念ヲ入レテ寫シタルモノナリ。十三歳ノ時ニ書シタルモノト云リ。コノ幼年ニ得タル慣習實ニ基本トナリテ。後來政府ノ事ヲ擔當シテ功績ヲ成シタリシナリ。

④利達ハ大戦争ヲ忍ビシ後ニ在リ

男子婦人ヲ論ゼス。何ニテモ大事ヲ爲シテ利達ヲ得ル人ハ必ズ榮名ヲ受ルナリ。恰モ畫工ノ人物ヲ寫シ。著述者ノ書ヲ撰シ。兵士ノ戦ニ勝ツガ

如ク。ソノ出來榮ノ善キ。何レモ賞譽セラレベシ。然レソノ利達ハ大難ヲ犯シ。大戦争ヲ忍ビシ後。ナラデハ得ラルベカラズ。特ニソノ戦タルヤ喧闐ナラズシテ手ニ血ノ染ザルノミ

⑤事務ト才藝ト相須テ長進ス

人或ハ以爲ク。事務ノ慣習ト技藝ノ才能トハ兩ノ者各別途ヲ行キ。相合一セザルモノトヒリ。此說最モ誤レリ。蓋シ才藝ニ長ズルハ大人ハ最モ職務ヲ勉ムルノ人ナリ。勞碌ナル賤工ト雖。之ヲ做シテ厭フコトナシ。才藝ニ長ズル人ハ職務ニ

勉強シ。辛苦ニ耐ユル。尋常ノ人ヨリ甚ダシ。故
ニ奮熱ノ精神アツテ。才能益長進スルナリ。極大
ナル事及ビ不朽ノ業ハ一時ニ僥倖シテ得ラル
ベキ。一ニ非ズ。故ニ古ヨリ才藝ニ長ズル人ノ絶
妙ナル物事ハ貴重ナル忍耐ト貴重ナル勞苦ト
ニ由テ得ルニ非ルモノナシ。此ヲ除キテ外ニ得
ラルベキ道アラズ。
勢カハ勉強勞作スル人ニ屬ス。勢カハ勉強勞作スル人ニ屬ス。懶惰ナル人ハ曾
ハ勢カアルヲナシ。コノ世上ヲ支配スル有力者

ハ。勞エヲ甘シ。ジ。痛苦ヲ忍ブ。人ナリ。古ヨリ卓
タル大臣ニシテ。勉強勞作ヲ爲ザル者ハ未ダ之
有ザルナリ。法國ノ王路易第十四世ハ國王ノ國
ヲ治ルハ勞苦ニ在リト言リ。
世。勞作ハ人ヲ憂鬱ノ中ヨリ救ヒ出ヌ。
勞爾德伯爵伯路寒ハ常ニ勤敏勞苦シテ。曾テ倦怠
スルヲナキ人ナリ。勞爾德伯爵巴墨斯敦ハ極老ノ
年ニ至ツテ。勉強勞苦シテ其為ルトコロノ事ヲ
成就スルヲ務ムル。中年氣力方ニ剛キ時ヨリ
甚ダシ。ソノ恒言ニ。官職ニ在テ爲スベキ勞作ノ

事自ラ充滿スルハ、吾健康ニ益アリト言リ。蓋シ
 勞作ハ人ヲ憂鬱ノ中ヨリ救ヒ出スモノナリ。ヘ
 ルベテユスヲ説ニ曰、人ノ禽獸ノ上ニ位スル所以
 ハ、勞作セザレバ憂愁ニ入り。憂愁ヲ脱セン爲ニ
 ハ、必ズ勞作スルニ在リト。實ニ世道人心ノ日ニ
 良善ノ域ニ進ムハ、勞作セズレテハ已ベカラザ
 ルヤウニ人ハ造ラレタルガ故ナリ。

⑧職務ニ勞スルハ人生ノ主義

常ニ勞作シテ已ズ、職業ノ繁多ナルヲ嫌ハズ、世
 上ノ務ニ任ジ、他人ト交通シ、實事ニ砥礪スルハ、

人生ノ主義ナリ。人苟モコノ主義ニ本ヅキ、事務
 ヲ勉ムレバ、強猛ハ性質ヲ成シ、極美ナル熟菓ヲ
 結ブヲ得ベシ。事務ニ任ズルノ習慣トナリタラ
 シニハ、順序宜シキヲ得テ、何ノ職業ニ拘ハラズ。
 政治ニ於テモ、文學ニ於テモ、技藝ニ於テモ、皆有
 用ナル人トナルベシ。サルカラニ、極好ノ著述文
 章、多クハ事務ニ練達スル人ハ、手ニ出ルナリ。蓋
 シ勉強學習ノ事、及ビ光陰工夫ヲ儉用スル事、自
 ラ慣熟シテ進歩スルナリ。職業ハ人々殊ナリト
 雖、^凡ソノ功績ヲ成所以ハ同ジ。

事ニ預カル高官ナリ。妥瑪伯拉温ハ諾維克ノ醫
 師ナリ。呼格ハ郷村ノ禮拜堂ノ牧師ニシテ其職
 ニ勉強ナリシトナリ。舌克斯畢ハ戲院ノ司長ナ
 リ。自ラ卑シキ戲子トナルノミナラズ金錢ヲ掌
 ドリ。其事ニ念ヲ入タリシトナリ。以上ノ諸人ハ
 カクノ如キ事務ヲ勉メシ間ニ文墨ヲ事トシ之
 ヲ以テ不朽ノ名ヲ得タリ。英國史ヲ閱スレバ文
 光燦爛古今ヲ照ス。以利沙伯惹迷士第一世ノ
 時ヨリ甚シキハナシ。而メ此皆事務ヲ勉ムル諸
 人ハ之ヲ成セシモハナリ。

④官職ノ暇ヲ以テ文藝ニ從事セシ人
 詩人ノ名家高禮ハ英王查爾斯第一世ノ時ニ有
 用ナル種々ノ職務ニ任ジタリ。王家ノ書記官ト
 ナリ。查爾斯第一世ト女王トノ間ニ往來スル書
 簡ヲ寫シ終日之ニ從事シ。時トシテハ夜ニ至ル
 カクノ如キ數年ノ久ヲ經タリ。彌爾敦ハ却テ民
 政黨ニ用ヒラレ。拉丁書記官ニ任ゼラレ。格朗
 ノ書記官トナリ。少キ時ニ卑級ナル教師ノ職ヲ
 爲リ。學士潤孫論ジテ曰。教師トナリテ學校ニ在
 シ時ニテモ。其他何ノ職事ヲ爲ニ於テモ大ニ勤

勉勞苦セシハ疑ヲ容ベキナシ。彌爾敦官ヲ休テ
 後。文事ニ心ヲ委子タリ。ソノ史詩ノ大著述ニ從
 事スル前ニ。多ク書ヲ看ルヲ務メ。又選ンデ好書
 ヲ看ルヲ必要ノ事トナセリ。又事物ヲ觀察シ。藝
 術ニ通曉スルヲ勉メタリシトナリ。ハ
 性理學ノ大家ナル洛克ハ查爾斯二世ノ時ニ
 交易事務局ノ書記タリ。維廉第三世ノ時ニ。交易
 及ビ植民ノ事ヲ司ドル官タリ。女王安ノ時代ニ
 ハ。文事ニ長ズル人ニシテ。權要ノ職ニ居ルモノ
 多カリシソレガ中ニ亞埵孫ハ丞相タリ。斯麥爾

ハ。印紙局ノ官タリ。或ハ丞相ノ次官タリ。後ニ公
 使トナリ。法國ニ往タリ。的格爾ハ丞相ノ次官タ
 リ。又愛蘭法院ノ書記タリ。公禮夫ハ牙賣加ノ書
 記ナリ。哀ハ哈納弗公使ノ書記ナリシトナリ。
 望事務ノ慣習ハ文藝學術ヲ培養長成ス
 事務ニ慣習スルハ。文藝學術ニ用フル心思ヲ
 培養スルノ害トナラザルノミナラズ。反ツテ之
 ヲ長成スル極善ノ具トナルナリ。勃爾對曰。事務
 ト文學トハ。真正ハ精神ニ於テ同一ナリト堅ク
 コノ真理ヲ執レリ。蓋シ事務ト文學ト何レモ之

ヲ完全成就センニハ勢カヲ要シ。思慮ヲ要シ。又之ヲ養成スル聰明ヲ要シ。實用ノ才智ヲ要シ。又敏快ト深沈トノ性質ヲ要ス。以上ノ者合湊備具スルニ非レバ不可ナリ。倍根ハコノ合湊備具スルヲ以テ。人性ノ極善ナル者ト爲リ。古人又曰。文才子ノ著書ト雖。人生日用ノ事情ニ的切ナラザル者ハ意味索然トシテ讀ニ足ズト。

⑤極好ノ書ハ事務ニ忙シキ人ノ手ニ出ツ極好ノ書ノ今日ニ存スル者多ハ事務ニ忙ハシキ人ノ手ニ出タリ。カクノ如キ人ノ書ヲ著ハス

ハソノ職業ヲ爲ニハ非ズシテ之ヲ以テ樂趣ト爲テ閑時ヲ消遣セシナリ。クヲトトルレト書ヲ著ハセシ吉福德ハ著述ヲ以テ活計ヲ爲スノ勞碌ナルヲ知レルガ故ニ嘗テ是言ヲ作テ曰。予カ如キ事務ノ中ヨリ閑暇ヲ覓メ得テ著述ニ従事スルハ勞苦ニ非ズシテ反テ精神ヲ娛シマシムル。恰モ渴鹿ノ泉ヲ飲ムガ如ク。彼ノ著述ヲ職業トスル者ハ飢犬ノ奔走シテ食ヲ求ムルニ比スベシト。

⑥以太利ノ文人多ハ事務ノ才アリ

以太利ニ於テ文人ノ大家ト稱セラル、者多ク
 ハ特ニ文人ニ非ズシテ。事務ニ忙ハシキ人ナリ。
 或ハ商賈或ハ國政ニ與カル人。或ハ國使或ハ司
 法官或ハ兵馬ノ任アル人ナリ。ヒルラニハ有名ナ
 ル福楞察ノ史著ハセシガ。商賈ノ業ヲナセリ。
 檀的百的拉克薄加西阿ハ。皆使節ノ職ヲ爲リ。檀
 的ハ使節トナリシ前ニ製煉家ニシテ藥材ヲ賣
 レリ。加利列窩曼爾法尼法利尼ハ皆醫師ナリ。額
 爾德尼ハ狀師ナリ。亞里斯多ハ名高キ詩人ナレ
 ドモ。其事務ニ長ズルオモ亦大ナリ。其父死シテ

家事ヲ整理シ其兄弟姉妹ノ利益ヲ謀ルニ才能
 アリ義氣アルヲ徵セリソノ事務ヲ辦理スルノ
 才幹アル人ニ知レテケレバ。フェルラノ丟克ニ
 用ヒラレ。羅馬ニ往ク使節ノ官ニ充ラレタリ。後
 ニ山深ク民騷亂シテ治メカタキ縣ノ長官ニ任
 ゼラレシニ政事ヲ善クシ動亂ヲ鎮メ。闔縣治マ
 レリト稱ス。山賊ニ至ルマデ亞里斯多ヲ崇敬セ
 ザルモノナシ。一日亞里斯多山中ニ於テ賊黨ニ
 捕ヘラレシ時自ラ名乗タレバ護衛シテソノ至
 ル所マデ隨行シタリシトナリ。

法國士班等ノ著述者ニシテ事務ノ才
 發帖爾ハライツヲ子シヨシス萬國權理ノ作者ナ
 リ事務精通達スル第一等ノ人ニシテ使節トナ
 リ能ク其職ヲ盡シタリ拉白禮ハ譏笑ノ小説ヲ
 著ハセシガ其職業ハ醫者ナリ以上法日耳曼ノ
 史家及ビ詞曲家ナリ昔爾列爾ハ外科醫ナリ
 士班ノ有名ナル小説家設爾盤的同國ノ詩人只
 テハ詞曲家カレシシ法國ノ人ニシテ幾何學天文
 學ヲ以テ名ヲ得タルモルバルチユイスカ理學家第加

爾の本草學者ラヒベデ及ビ拉馬克以上六人ノ著
 述者ハ種々ノ職務ヲ為セシガソノ初年ハ皆兵
 隊ニ入タル者ナリ東英國及其他ノ著述者ニシテ事務ノ才
 英國ニ於テ著述者ト為テ名ヲ顯ハス人ニシテ
 商賈ヲ為テ過活スル者數多アリ種爾洛ハ玉工
 ヲ為セシ餘暇ヲ用ヒテ戲作本ヲ著ハシ筆力ア
 リト世ニ稱セラル以撒話爾東ハ麻布商ヲ作ル
 暇ニ多ク書ヲ讀ミ後來傳記ノ書ヲ作ル材料ヲ

蓄ヘタリ埵夫ハロビンソクルス書名ヲ著ハセシ
ガ。或ハ馬商。或ハ磚瓦匠。或ハ看舗人。或ハ著述人
或ハ論政家ナリシナリ。兼テ事務ニ練達セ
撒母耳カ查遜ハ文事ニ長シ兼テ事務ニ練達セ
リ。舗ノ後ニ在テ著書ヲ草シ。舗前ニ於テ其書ヲ
賣レリ。維廉發東亦著書者ニシテ且書肆ナリ。發
東自ラ作レル行狀ニ言ルコトアリ。人タルモノハ
半生五十年バカリ斯世ニ在トモ自カラ己ノ模
様何如トイフヲ認識セサルコトアルモノナリ。余
ハ好古者ナリト一世ニ認識セラル、後マデハ

自ラソノ然ルヲ知ザリケリ。便惹民富蘭林ハ著
述者トナリ。理學者トナリ。國政ヲ預カル人トナ
リ。其名大ニ顯ハレシガ。ソノ活字ヲ植ル職人ト
ナリ。賣書商トナリシトモ亦名高カリシナリ。
望職業ニ忙キ間ニ著述ヲ爲シ人
今世ノ人ニテハ。エベ子ゼル義律ハ鐵條ヲ賣ル
ヲ職業トナシ。ソノ餘暇。許多ノ詞曲ヲ作り。之
ヲ世ニ公ニセリ。其職業ヲ勉メテ利益ヲ獲レカ
バ。郊外ニ小屋ヲ建ルヲ得コ、ニ殘生ヲ送リタ
リ。以撒。麥洛爾ハナチュラルヒストリー。ラフ・エンシユシア

ス。トイヘル書ヲ作りシガ。工事ニ勞苦シ。麥酒ノ
 栓。及ビ「印花機」ニ用フル。雕銅ノ新機械ヲ創造シ
 タリシナリ。其類業々以テ其益ヲ盡シテ
 傑著作家ニシテ。辦事ノ才アリシ人。其地ニ
 戎斯去亞的彌爾ノ初年ニ著ハセシ書ハ。東印度
 公司ノ検査官ノ職務ニ從事ヒシ。餘閑ニ屬稿セ
 シナリ。コノ時同ジク。公司ノ書記官タリシ。查爾
 斯。藍及。ビ比諾克二人。皆著書家ニシテ。以徳寅諾
 爾立斯ハ。善語學ニ達シケリ。馬高禮ハ。軍務局ニ
 從事セシ。間ニ「ヒトスヲ」（ヒトス）「ロム」（ロム）名ヲ著ハセリ。黒

爾普士ハ。ピッセイ。スリッテン。イン。ビ。イン。タル。ス。ラ。フ。ビ。ン。子。ス。ト
 イヘル書ハ。其名ノ如ク。事務餘閑ノ文章ニシテ
 考思深キ文辭ナリ。今日現存ノ人ニシテ。要用ノ
 官職ニ居リ。著述ヲ以テ世ニ稱セラル者ハ。ヘン
 リ。爹洛爾。ジヨ。客耶。アントニ。上洛爾。婁伯。トマ
 ス。爹洛爾。マッ。セ。ノ。亞。瑞。爾。德。サ。ミ。ユ。ル。語。爾。連。ノ。如
 キ。是。ナリ。其類業々以テ其益ヲ盡シテ
 詩人。普洛格。多。ハ。顛狂院ノ管理人ナリ。著ハセシ
 書ニ。ハ。アレ。イ。コ。ル。ン。ウ。ラ。トル。ト。名ヲ題シ。實名ヲ隱セリ。
 其故ハ。若シソノ書ノ。已カ手ニ出シ。ト。ヲ。世ニ知

ラレナバソノ職務ヲ罷ラレンコトヲ恐レテナリ。
 コレ今日ニ在テモ。俗間ニ行ハル、謬論アリテ。
 書ヲ著ハス人ハ。事務ヲ作ニ宜カラズ。詩ヲ作ル
 人ハ。更ニ適當セズト言リサレド。試ニ觀ヨシヤロシ。
 多納爾ハ。絶好ノ作史家ニシテ。亦絶好ノ狀師ナ
 リ。斯密士氏兄弟ホレス。ジェームス。亦有名ノ著書家
 ニシテ。及び有名ノ狀師ナリ。後水師刑部ノ高官
 ニ陞リ。
 伯洛地立ハ。狀師ノ職ヲ作シ時ニ博物學ニ從事
 シ。ヘンリーサイコロヘヂテ。博物韻府ノ中。動物植物

ノ箇條ニ。其論說ヲ出シ。又ゾーロチカル、レクリエーシヨ
 ン「リ」フスフロムゼノウトグツヲフエナチユラリスト」皆
 名ノ大著述ヲ為リ。カクノ如ク學習ニ勉力セシ
 ガ。狀師ノ職ヲ十分ニ完タクシ。ソノ決定判斷セ
 シモノ。未ダ曾テ他人ニ非難ヲ容ラレザリ。ト
 ナリ。又ロルドチイフベロン爵ノ保爾洛克ハ。其
 職務ノ餘間ヲ以テ。算學及ビ寫真ノ事ヲ嗜ミ。遂
 ニソノ深奥ニ達シタリシトナリ。
 銀行商ニシテ文學ヲ嗜ミ著述ヲ以テ名ヲ顯ハ
 ス者ハ。詩人洛惹士「ロ」レンゾデメジシノ傳ヲ著ハ

セシ。洛^ス斯^ゴ。經濟租稅論ノ著述人カ加^リ爾^カ德^ド希^グ臘^{リス}史ノ著者希^グ羅^ロ的^テ博^ク古^ク學^ブ者^ト。拉^ラト^ン意^イ見^ミノ原^ハ由^ト發見論ヲ著ハセシサミ^ニール。倍^バ禮^{レイ}等^トナリ。コノ倍^バ禮^{レイ}ハ其他修身學。經濟學。心理學ノ著作アリ。

上ニ云ル者ハ著作家ニテ名ヲ顯ハシ、人率^{オホ}ム子兼テ事務ヲ辨理スルノオアリシ人ナリ。之ニ次テ言ント欲スル者ハ學識アリ、藝能アツテ又能ク事務ニ長ジタル人ノ事ナリ。蓋シ何ニ限ラス。學藝ニ從事シ極善ノ養育ヲ受ルトキハソハ

心ヲ用フルトニ慣ヒ勉強勞作スルトニ耐ハ規^キ則^ニ從^フガハトヲ能シ。其心ヲ養フヲ得其心自由ナルヲ得何事ヲ行フニモ勇氣アルヲ得ベシ。凡ソ此等ノモノハ獨リ學藝ヲ上達セシムルノミナラズ事務ヲ做シ行フ上ニ於テ亦大ニ功效アルトナリ。是故ニ遍^ヒク年少ノ者ヲ觀ルニソノ教養ヲ受テ讀書學問スル者ハ尋常ノ人ニ比スレバ更ニ品行堅實ニナリテ事務ヲ行フニ敏捷ニシテ且巧善ナリ。コレ他ナシ。智識ヲ磨礪セシガ爲ニ養ヒ長セントコロノ注意勉力才能ノ飽足

スルモノアレバナリ。

⑤學術ニ於テ其大ヲ成ス人ハ行事ニ於テ更ニ其大ヲ成ス

孟泰嘗テ真正ノ理學者ノ事ヲ論ジテ曰彼等學術ニ於テ其大ヲ成セシ者事ヲ行フニ於テ更ニ益其大ヲ成セシナリ彼等マタ自ラ其才徳ヲ試ミラルノ時ニ逢フゴトニ必ズ高キ地位ニ飛ビ世人ニ仰ギ見ラルナリ彼等ノ精神ハ事物ノ學問ニ由テ高尚ナルヲ得且ツ富麗ナルヲ致スナリ真ニ希異ナル哉洵トニ敬スベシ

⑥考思想像ノ才ト實用事務ノ才トヲ論ズ

蓋シ上ニ言ガ如ク文學ト事務ト兩ナガラ相妨ゲズシテ相長進スルト雖凡又コトニ知ザルベカラザルモノアリ理學上ノ事ニ一心ヲ委子想像ノ田地ニ専力從事シテ其他一切ヲ問ザルトキハ其習慣漸ク久シク性ヲ成シテ事務ニ擔當スル實用ノ生涯ヲ爲ニハ不適當ナルニ至ルモノナリ考思想像ノ才ハ自ラ是レ一事ナリ實用事務ノ才ハ別ニ又一事ナリ故ニ世ニ筆ヲ把テ人生ノ事ニツキ遠大ノ見識ヲ論ズル鑿々トシ

テ。實ニ中ルモ。其人ヲシテ。其事ヲ實ニ施サシメ
テハ。爲シ得ル能ハザルモノ。亦コレ有ルナリ。
想像考思ハオハ。奮ヒ勉メテ思想スルニ由テソ
ノオヲ長ズルナリ。實事應用ハオハ。奮ヒ勉メテ
行ヒ爲スニ由テソノオヲ長ズルナリ。コノニツ
ノオハ。人各コレヲ有スト雖。ソノ分量ニ於テ
ハ。甚ダ差異アリテ。決シテ等分ナラヌナリ。考
思想像ノオアル人ハ。決斷ヲスルニハ。敏捷ナ
ラズ。何ニトナレバ。考思想像ニ慣フガ故ニ。何事
ニツキテモ。四方八面ヲ見ルヲ得テ。詳細ニ輕重

ヲ量リ。短長ヲ較シ。黨與ノ説并ニ敵對ノ説ヲ思
量スル故ニ。大抵彼我トモニ輕重ノ大差別ナキ
ヲ見ル故ニ。之ヲ決斷シ。一方ヲ揚ゲ一方ヲ抑ユ
ルヲ。急速ニ爲ガタキニ至ルナリ。之ニ反シテ。
實事應用ノオアル人ハ。豫ジメ商量議論ヲ爲ス
ヲ用ヒズ。直チニ己ガ是トスル所ニ定斷シテソ
ノ作用ヲ施行セント欲ス。故ニ或ハ一隅ヲ見ニ
拘ハルト雖。ソノ決斷ハ。敏捷ナリ。故ニコノニ
オ。何モ所長アリテ。ソノ短所モ。亦由テ以テ見ル
ベシ。

⑤ 學術ノ大家ニシテ事務ノオアリシ人
 學術ヲ以テ大名ヲ得タル人ニシテ事務ヲ辨理
 スルオアル者多クアリ。以イサツ撒ニウ牛トシ董トシハ極大ナル理
 學者タルノ故ニ。礦山ノ主事人トナリテソノ職
 ニ副カナハザリシトイフヲ聞ズ。戎シヤ黑ヘル爾シエ舌エルハ卓越ノ
 天學者タルカ故ニ。牛ウ董トシト同ジキ職ニ在テ事務
 舉キカラザリシトイフヲ聞ズ。呼フ模ム波ボ爾エル德ト氏シ兄弟ケイハ
 文章性理話學ニ長ゼシガ使節大臣トナリテ亦
 其材能ヲ顯ハシタリ。
 奈ナイ蒲フ爾エルハ連レン國クニノ史家ナリシガ事務ノ人ト稱セ

ラル。ホドニソノ勉力ト利達トヲ顯ハセリ。始
 メ亞ア弗フ利リ加カ領事官ノ書記トナリ。次ニ庫部ノ一
 官トナリ。後コノ職ヲ休テ。伯ハク林リン銀行ノ主事人ト
 ナレリ。コレ等ノ事務紛繁ナリシ間ニ羅ロ馬マノ史
 記ヲ研究シ及ビアラビヤアラビヤロシヤロシヤスタクラスタクラホニアホニアノ語
 ヲ學ビ遂ニ有名ノ史家ト。後代ニマテ稱セラレ
 、ニ至レリ。
 ⑥ 拿破ナポレオン崙ボン學者ヲ選用セシ事
 拿破崙第一世ノ説ニ曰。予學術アル人ヲ召シヨウデ吾ガ
 事務ヲ辨理スルトナシ。以テ吾ガカラ増ゾウント

欲スト是故ニ拿破崙ハ學術ノ士ヲ選舉レテ任
 用ニ充ルヲ務メタリ。自ラソノ選舉ヲ誤マルト
 キハ。他人ノ選舉大ニ中ツテ利アルトアリシト
 ナリ。拉。普禮斯ハ内務卿ニ選用セラレシガ。忽チ
 ソノ職ニ副ハガリシヲ見ハレタリ。蓋シ事務ヲ
 辦理スルニ精微ナル問題ニ入ルニニシテ真
 正ノ見識ニ達セズ。漸ヤク事務ニ慣ヒ實用ノ生
 涯ヲ學ブニ至リ。年既ニ老テ及ブ能ハザリキ
 達留ハ普氏ト甚ク異ナリ。拿破崙之ヲ用ヒテ事
 務ニ熟達スルノ利益ヲ得タリ。達留ハ瑞西ニ在

テ馬設納ニ從ガヒ軍官トナリシ時著述家トナ
 ツテ名ヲ顯ハセリ。拿破崙召テ閣老ト爲ントセ
 シニ。達留踟躕シテ之ヲ受ルヲ肯ンゼズ。曰。余ハ
 生平ハ大分ヲ書冊ハ中ニ消耗シ。大臣ノ職務ニ
 慣ハズト。拿破崙曰。朝臣ノ職ニ副フモノハ。我既
 ニ其人ニ乏シカラズ。復タ子ヲ煩ハリス。今我ハ
 一箇ノ宰相ヲ要ス。ソノ宰相ハ。必ズ智識通明ニ
 志氣堅定ニシテ用心謹慎ナル者タルベシ。此ノ
 性徳ヲ具フル人ヲ選ブニ子ニ若ク者ナシト。達
 留遂ニ拿破崙ノ意ニ從ガヒ。首相トナリシガ。平

生ノ品行ヲ改メズ。平正老實ニシテ。自ラ私スル
 ノ心ナク。果シテ能ク其職任ニ副ヒ。死ニ至ルマ
 デ。聲名ヲ墜サズリケリ。
 勤敏ナル人ハ。暇餘ヲ造リ。事業ヲ看出ス。
 勉強作業スル。習フテ。性ヲ成ス。人ハ。怠惰ヲ惡
 ム。仇讐ノ如シ。若シ己ヲ得ガル故アツテ。其職事
 ヲ休ル時ニハ。必ズ他ノ事業ヲ看出シ。勞作シテ。
 以テソノ心神ヲ慰蘇セリ。カクノ如キ。勉強ヲ常
 トスル人ハ。苟モ暇餘アレバ。必ズ速カニ之ニ充
 ツル。餘事ヲ負メ。出スヲ得ルナリ。彼ノ懶惰ナ

ル人ノ。負メ得ザル時ニ。勉強ナル人ハ。暇餘ヲ自
 ラ造リ。出スヲ能セリ。哈白的曰ク。暇餘ヲ用ヒ
 ザル。人ハ。暇餘ヲ得ザル。ト同ジ。倍根曰。職事ヲ
 行フニ。勤敏繁忙ナル人ハ。許多ハ。暇餘ヲ多ク有
 セリ。蓋シ。事務ノ來ルハ。潮水ノ進ミ。至ルニ似タ
 ル。職事ヲ勤ムル人ハ。事務ノ緩急先後ヲ知リ。及
 ビ此ハ。自ラ做スベク。彼ハ。他人ニ委ヌベキヲ知
 リテ。善ク之ヲ處スル故ニ。亦能ク。閑暇ヲ尋子。出
 ス。トナリト。之ヲ以テ見ルトキハ。許多ノ大事ハ。
 カクノ如キ人ノ。空閑ハ。時日ニ成就シ得タルモ。

ハナリカクノ如キ人ニハ勞作スルヲ易シトシ、
 懶惰ナルヲ難シトスル所謂勉強ヲ第二ノ天
 性トナセル人ナリ、
 此等癖好ノ事ハ勉強ノ性ヲ生ズルヲ易クシ、
 癖好スルノミノ故ニテ何事ナリトモ勞作スル
 トキハ即チ勞作スル材能ヲ發出スルヲナリ故
 ニ癖好ハ勞工ノ教育者トイフテ當レリトス癖
 好ノ事ハ勉強ノ性ヲ惹キ起シソノ做トコロノ
 事業ヲシテソノ心ニ愉快ナラシムルナリ、
 羅馬
 帝大ニ山蠅ヲ捕フルヲ以テ癖好トナセシガ

如キハ論ズルニ足ラザレバ馬色同ノ王提燈
 ヲ作ルヲ好ミシモノ法蘭西ノ士ニ鍵ヲ作ルヲ
 嗜ミシモノアリコレハ稍體面アルモノ、如シ
 高尚ナル學問ニ心カヲ委子ソノ餘暇ヲ慰サメ
 ンガ爲ニ尋常ノ工事ヲ做セシ類間コレアリコ
 レ等ハソノ工事ヲ作ル最中ニ樂趣アルヲ覺
 ルニシテソノ成就セル結果ヲ樂シムニハ非ザ
 ルナリ、

○癖好ノ事ハ職業ノ餘暇ヲ以テ爲ベシ
 癖好ノ極善ナル者ハ心智ヲ用フルニ屬スルナ

是故ニ職事ヲ做ニ敏快ナル人ハソノ餘閑ヲ
見テ出レテ用テ他ノ嗜好スル事ヲ做シ
以テソノ倦怠ヲ慰シソノ精神ヲ養フ或ハ學術
或ハ技藝或ハ文章等ナリ而シテ文事ヲ嗜好スル
者最ヒ多キニ居ル且カクソノ如キ養神ノ事ハ自
私ニスルノ情欲及ビ塵俗ノ惡習ニ陷入スル
ヲ防ク爲ノ極好ナル方法ノ中ニ數ハ入ラルベ
シ勞爾德伯爵ノ伯路寒公ノ言ニ癖好ノ性アル人ハ
福ナリトイハルハ宜ナルカナ伯路寒ハ變ジ易
キ性ヲ多ク有セルガ故ニ許多ノ事功ヲ交互轉

變シテ做シ得タリ或ハ詩文或ハ視物學或ハ史
記或ハ言行錄或ハ人倫交際學ニ從事セリソノ
作レル小説ニ至ルマデ世人ニ稱譽セラレタリ
抑モコトニ著眼セザルベカラザル者アリ癖好
ノ事ニ耽リ心カヲ用ヒ過ルトキハソノ本分ト
スル職業ヲ做スニ精力乏シクナリ實功ヲ妨グ
ルニ至ル故ニ本末輕重ヲ誤マラザルヤウ注意
意シテ養神ノ適度ヲ得ルヲ要スハシ
⑤政務ノ餘暇ニ著述ヲ以テ樂トナス人
政事ニ參與スル人ニシテ其餘暇ヲ以テ文辭ヲ

作り。精神ヲ慰樂スル伯路寒ノ如キモ、其人ニ
 乏シカラズ。而メ其著書。遂ニ天下ニ誦セラレ法
 トラル、ニ至ル者亦多シ。羅馬帝談撒ノ作レル
 コムメンタリース。ソノ文辭明白ニシテ氣勢
 アリ。今尚好書トナツテ。ジノホンノ著書ト肩ヲ
 比ハテ世ニ重ンゼラル。ジノホン亦古希臘ノ文
 學事務ノ二才ヲ并セ有セシ人ナリ。
 撒兒禮ハ。法國ノ相臣ナリ。官ヲ休ラレテ後ソノ
 餘暇ヲ以テ自ラ其傳記ヲ作り。子孫ヲシテ。已ガ
 相臣タリシ時行ハル事ノ得失ヲ考ガフル所ア

ラシメ又小説ヲ作りシ自筆ノ草稿ソノ歿後ニ
 故紙堆中ヨリ出シトナリ。
 都爾俄ハ。法國有名ノ政事者ナリ。仇敵者ノ姦計
 ニ中リ。其職ヲ奪ハレシカバ。身體ノ學ニ從事シ
 以テ精神ヲ慰藉セリ。又早年嗜シシ所ノクラシカ
 ルサインス。希臘羅馬古書ノ學ヲ再タビ治メタリ
 又長途ヲ旅行セシ時。脚風病ヲ患ヒ。夜眠ルノ能
 ハザリシカバ。拉丁語ノ詩ヲ作り。以テソノ痛苦
 ヲ忘レシトナリ。
 近世法國ノ政事者ニシテ。文事ヲ以テ職業トナ

者ハ德多克未爾多爾吉索拉馬田最モ其表々
 タル者ナリ。拿破崙第三世亦談撒ノ言行録ヲ著
 ハシ。ソノ名ヲ藝林中ニ顯ハセリ。
 英國ニ於テモ最大ナル政事者ニシテ文藝ヲ嗜ミ人
 好トナレ。精神ヲ慰養スルモノ。少カラズ。比の福
 克斯二人ハ何レモ職務ヲ爲シ餘閑ハ希臘羅
 馬ノ古書ヲ學ブヲ以テ樂ト爲タリ。額連未爾嘗
 テ比の福克斯ヲ評シテ我未タ曾テ希臘ノ學ヲ
 善スル比の勝レル人ヲ見タルコトナシト堪寧

及ビ完爾列斯皆職事ヲ畢テ後ハ訶禮斯ノ歌詩
 戲文ヲ譯セリ。ソノ一生ノ間文學ヲ愛好シ。以テ
 其身ニ光色ヲ與ヘタリ。之ガ傳ヲ作ル者曰ク。堪
 寧曾テ比のノ家人饗宴ニ赴ムキレ時。宴畢ツテ
 衆客交談話スル折カラ。廳堂ノ一角ニ於テ。堪寧
 ト比のハ。或ル希臘ノ古書ヲ注目觀覽シテ居タ
 リシトナリ。福克斯勉強シテ希臘ノ書ヲ學ビ。比
 的ト同ジク「ライコフロン」名書ヲ讀ミタリ。福
 克斯又惹迷斯第二世ノ史記ヲ作ル。其成ルモノ。零冊ニ
 過ザリシガ。實ニ艱難ノ業ナリシナリ。

列維斯ノ事

近來英國ノ政事家ニテ最モ才幹アリ勉強ナリ
 シヨルジ・コトウール。列維斯亦文學ヲ癖好トナシ。并
 セテ著作家ノ名ヲ得タリ。列氏ハ事務ニ慣習シ
 勤敏縝密ニシテ。勞苦ヲ辭セザル人ナリ。濟貧法
 院ノ長大藏卿。内務卿。兵部卿ノ職ヲ交互轉任シ。
 皆能ク聲望ヲ得タリ。其職事ヲ治ムルノ餘暇ヲ
 以テ。文事ニ耽リ。心神ヲ怡樂セリ。即チ史學。國政
 學。字語學。身體學。古物學等ニ心カヲ用ヒタリ。ソ
 著ハセル「ピラストロイ」ヲ「ベアンシント」エッセイスランゼ

ホルマーシオンヲ「ゼロマニク」レダス。コノ二部ノ書ハ日
 耳曼深奥ナル理學者ノ著作ニ比肩セラルベシ
 トイハレタリ。列氏ハ學術ノ深微ナルモノニ心
 ヲ潜ムルヲ熱好スル。甚ク時トシテハ勞爾
 德巴墨斯敦ニ列氏ハ書ヲ讀ム爲ニ官府ノ文書
 ヲ忽カセニス。ト諫メラル。程ナリ。巴氏自カラ
 我ハ書ヲ讀ムノ時間ヲ有セス。寫本ヲ閱スルニ
 テ。我事既ニ足レリト言リ。
 列維スハ文學ノ癖好過甚ニシテ。ソノ死ヲ促ガ
 セリ。一生ノ間。職務ニ任ズルト離ル。トヲ問ハ

ス。或ハ書ヲ讀ミ。或ハ筆ヲ把リ。或ハ思察學習セリ。壹丁不レビエ」ノ出版者ヲ罷テ。大藏卿トナリ。後ソノ官ヲ休テ。ブリチス。ミユシューム。英京博物館ニ藏スル所ノ希臘語ノ寫書ヲ寫セリ。ソノ平生特ニ古書ノ讀ミ難キ者ヲ研究スルヲ熱愛セシトナリ。

④列維斯ト同時ナル政事文學ノ人。列維斯ト同時代ニ生レ國政ヲ任ズル餘暇ヲ以テ文學ニ沈酣シ。精神ヲ慰蘇スル者ソノ例亦多シトスコレ等々人ニハ國政民務ニ鞠躬盡瘁シ。

一ハ和馬及ビ和禮斯ノ詩ニ從事ス。官府ノ門鎖ストキハ。文藝ノ苑ニ入ル。ソレガ中ニ最モ表々タルモノハ。大伯人亞爾名爵及ビ額拉德斯名爵及ビ堉士禮立及ビ勞爾德拉設爾及ビ馬貴斯名爵阿弗諾曼倍及ビ勞爾德律敦ナリ。

⑤有用ニシテ且希望アル工作ハ健康ノ益アリ。

以上言ルトコロノ者ヲ結ンテ曰。勉強作事ハ獨リ身體ノ益タルノミナラズ。心靈ノ爲ニモ甚ハカ善ナリ。人ハ身體ノ機器ニ由テ支ヘ存スル

ヲ得ル聰明ナル活物ナルガ故ニ。ソノ身體ノ機
 器ヲ運動スルハ健康ノ福ヲ受ル爲ニ必要ナリ
 トス。身體ヲ傷害スルハ作工ニ非ズシテ過度ノ
 作工ニ在リ、勉強作工ハ身ヲ傷ラス。單一ニシテ
 疲勞ナル且希望ナキ作工ハ健康ノ害トナルベ
 シ。諸ノ希望アル工作ハ健康ハ益アリ而メ工作
 ヲ有用ニシテ且望ミアルヤウニ用フルハ福
 祉ヲ得ル秘訣ノ大ナルモノナリ、
 空腦カノ作工ハ他ノ作工ト勞逸同ジ
 腦カヲ用フル作工ハ苟モ能ク適度ヲ得たらん

テハ其他一切ノ作工トソノ勞逸同ジカルベシ
 決シテ他ノ作工ヨリ多ク疲ルモノニ非ズ獨
 リ此ノミナラズ規則ヲ定メテ用フル其度ニ中
 ルトキハ恰モ身體ヲ勞動スルト効驗ヲ同ウシ
 康強ニ益アリ精神ト身體ト各均シク分量ノ度
 アリソノ度ヲ過スハ人ノ堪ヘ受クベキトコロ
 ニ非ズ又全クコノ二者ヲ用ヒズ徒ラニ飲食睡
 眠スルノミナレバソノ健康ヲ害スル一更ニ甚
 シトス是故ニ銹ノ鐵ヲ腐爛スルハ砥石ヨリモ
 疾ク怠惰ノ人ヲ傷害スルハ工勞ヨリ速ヤカナ

リ。

⑤ 作工ハ適度ナルベシ過度ナルベカラズ
 作工ノ太過ナルハ經濟ノ極惡ナル者トイフテ
 可ナリ。蓋シ勞工ノ過度ナルハ損害ヲ受ル甚ダ
 多ク。若シ又煩悶ト伴ナフトキハ更ニ害アリト
 ス。煩悶ハ人ヲ害ス。作工ハ人ニ益アリ。過度ト適
 度トハ異ニ由テ利害殊途ナルヲ致スナリ。腦力
 ヲ用フル亦身體ノ力ヲ用フルト同ジ。性分ノ固
 有ナル者ノ外ニ踰ユレバ。必ス彫瘁ヲ促ガス。恰
 モ身體ニ副ハザルカヲ出シテ筋ヲ斷チ背ヲ破

ルガ如シ故ニ作工ヲ做スハ過甚ニ至ラザルヤ
 ウニ注意スベキナリ。

西洋品行論第四編終始

西
洋
品
行
論
第
四
編
終
始

明治十一年三月廿九日板權免許

翻譯并出板人 東京小石川江戸
川町十八番地 中村正直

東京 芝三島町 和泉屋市兵衛

賣 今 日本橋通一丁目 須原屋茂兵衛

弘 今 日本橋通二丁目 山城屋佐兵衛

書 今 小石川大門町 鴈金屋清吉

肆 今 通新石町 鴈金屋仙藏

全 今 神田鍛冶町 富士屋金十郎

全 今 本町三丁目 瑞穂屋卯三郎

全 今 日本橋通三丁目 丸屋善七

大坂 通塩堀町 内藤傳右衛門
心齋橋南久寶寺町 伊丹屋善兵衛

